

## 【造園緑地科～11月～】

2年造園緑地科です！

今回は、修学旅行で訪れた京都府京都市「清水寺」について紹介します。

清水寺は、大きな慈悲を象徴する観音さまの霊場として、古くから庶民に開かれ、幅広い層から親しまれてきた場所です。

専門教科「造園計画」の授業で清水寺の歴史や構造について学習していたので、学んだことを確認しながら見学できました。目に入るもの全てが新鮮で、とても鮮やかに映りました。

「清水の舞台から飛び降りる」という言葉がありますが、実際に見るととても高く、恐怖を感じました。それくらいの思い切った気持ちを持って、物事を成すことが大切であることを実感しました。

造園という分野において、修学旅行は学んだことを実際に目にできる絶好の機会です。来年以降修学旅行に行かれるみなさんには、ぜひ造園の学びと修学旅行をリンクさせて、思う存分楽しんでほしいと思います！

(2年造園緑地科・農業委員)



## 【造園緑地科～10月～】

3年造園緑地科です！

今回は「造園計画」の授業で行っている“製図”について紹介します。

造園緑地科では、主に手描きと RIKCAD を使用した製図を行っています。

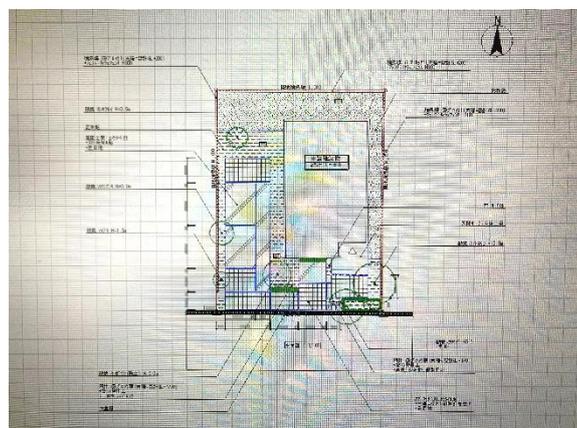
RIKCAD での製図は、造園に特化した3次元 CAD システム「RIKCAD」を用いて行っています。

この RIKCAD を授業で扱っている高校は、東北エリアでは本校だけ📍  
現場で即戦力となれる製図技術を磨いています。  
また、来年2月には、1年造園緑地科を対象に RIKCAD 講習会の開催を予定しています！

さらに、RIKCAD 検定3級や建築 CAD 検定3・4級の試験も実施しているので、造園のみならず、建築、設計・デザインに関するスキルアップを目指すことができます。

中学生のみなさん、ぜひ造園緑地科で私たちと一緒にエクステリアの専門家を目指しませんか👏

(3年造園緑地科・農業委員)



## 【造園緑地科～9月～】



1年造園緑地科です！

9月10日(火)、私たちは秋田県林業大学校にて「高性能林業機械操作体験研修」に参加してきました。

今回はこの研修で学んだことについて紹介します🌲



体験した機械は、ハーベスタ(写真1枚目)、ハーベスターシュミレータ(2枚目)、フォワーダ(3枚目)、チェーンソー(4枚目)、林業アプリ「マプリア」(5枚目)の5つを体験しました。

その中でも得に興味深かったのは、林業アプリ「マプリア」です。このアプリは簡単な操作で様々な測定が正確にできるもので、これまでの測定方法よりも人手やコストを削減できたり、取得したデータで解析ができたりと、たくさんの利点があります。



私も実際に樹木の幹幅や樹高を測定してみましたが、簡単な操作で様々な測定ができました！

このような“スマート林業”は今後さらに普及・発展していくと考えます。



“林業”は本県を代表する素材生産業であり、私たちが学ぶ“造園”と隣り合った産業でもあります。(※〇〇造園や〇〇林業といった会社名で、造園と林業の2部門を柱に事業を行う会社も多いです)。



私たち造園緑地科の卒業生も林業大学校へ進学したり、林業会社に勤めたり、秋田県(林学)や国家(林業)公務員としても活躍しています。

今回“林業”という産業を体験し、将来の選択肢の1つとして具体的に考えることができました。

林業や造園に興味を持ってくれる人たちがさらに増えてくれたら、とても嬉しいです🌸



(1年造園緑地科・農業委員)

## 【造園緑地科～6月～】

2年造園緑地科です！

今回は「造園計画」の授業で行っている“製図”について紹介します！

造園緑地科では、主に手描きと RIKCAD を使用した製図を行っています。

私たちは今年10月に「トレース技能検定3級」を受験します。

写真は7月に受けた模擬試験の様子です(野球部は甲子園予選のため別日に実施しました)。

造園緑地科では、手描きの製図技術を磨くため、2年次にトレース技能検定3級を受験しています。

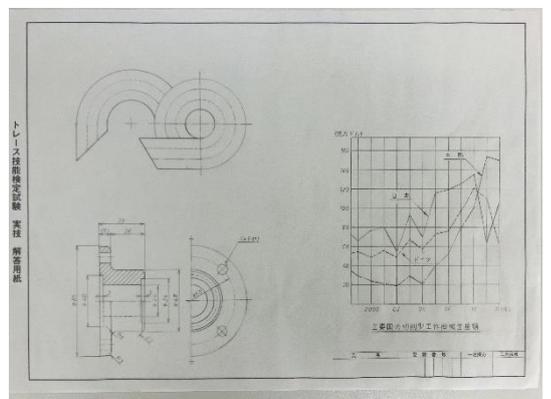
トレース技能検定とは、課題図を正確にトレース(清書)する実技試験で、制限時間内に正しく行わなくてはなりません(写真4枚目)。

また、筆記試験として、製図方法や図面表記・ルールに関する理論問題も出題されます。

3級は全員受験ですが、さらに上を目指し、難易度の高い1・2級にチャレンジする3年生もいます。

全員合格できるよう、コツコツ練習を重ねていきます。  
2年造園緑地科みんなで頑張ります！

(2年造園緑地科・農業委員)



## 【造園緑地科～5月～】



3年造園緑地科です ☞

今回は、「ミニ盆栽」について紹介をしたいと思います。

本校造園緑地科では、管理作業、造園施工、製図作業、測量など様々な作業実習を行っています。  
その中に「ミニ盆栽」があります。

「ミニ盆栽」は、小さな容器に土、苔、化粧砂、植物を植栽した、ミニチュアサイズの盆栽のことです。



簡単につくることができ、またスペースを取らず場所を選ばないので、気軽に取り入れることのできる“手の平サイズの庭園”です。選ぶ容器や植物、苔の貼り方など、それぞれの個性が表れるのも面白いところです。他にはない、自分だけのオリジナル作品を作ることができます！！

ミニ盆栽は見ていて癒されますし、自然を間近に感じることができるので、贈り物としても大変喜ばれます。  
ミニ盆栽は造園緑地科の目玉商品とも言えるでしょう！

～販売について～

ミニ盆栽は、金農祭で体験販売を行っていて、毎年、大好評をいただいているイベントです。  
意外と簡単につくることができるので、初めての方でも心配いりません。興味を持った方は、是非やってみてくださいね。



(3年造園緑地科・農業委員)